

春期 保健だより

【春に多い感染症】

溶連菌感染症…溶血性連鎖球菌の感染で起こる病気

潜伏期間:2日～5日

症 状: 発熱、喉の痛みなどの風邪に似た症状、首のリンパ節が腫れたり中耳炎を引き起こすこともある、全身の発疹(赤く細かい発疹)舌が赤くなることもある(いちご舌)

治 療 法: 抗生物質をきちんと飲み切ることが大切。

殆どの場合、薬を飲み始めてから1日～2日で熱が下がり、発疹も徐々に良くなってくるが、途中で薬の服用をやめてしまうと再発し急性腎炎、リウマチ熱、中耳炎などの合併症を引き起こすことがあるので注意すること。

薬をきちんと服用すれば24時間以内に感染力が殆どなくなる。

水ぼうそう…水痘、帯状疱疹ウイルスの感染で起こる病気

潜伏期間: 約2週間前後(10日～21日)

症 状: 発熱とともに虫刺されの様な赤く小さな発疹が出て、半日～2日くらいの間に全身に広がる。

発疹は次第に強い痒みがある小豆大の水疱になり、2～3日後には乾いてしぼみ、黒いかさぶたになりはがれる。(紅斑→丘疹→水疱→痂皮)

治 療 法: 症状に応じて治療を行う(対症療法)

※感染力が強い病気なので、発疹が全身かさぶたになるまで、周りの人に感染させてしまうことがある。

おたふくかぜ…ムンプスウイルスによる感染で起こる病気

(流行性耳下腺炎)

潜伏期間: 2～3週間くらい(潜伏期間中に唾液腺の中でウイルスが増えてしまうので**潜伏中でも人に感染させてしまうこともある**)

症 状: 耳下腺の腫れ、唾液腺の腫れ、発熱など腫れている耳下腺が赤くなることは殆どない、ものを飲み込む時に痛みがある。

(酸っぱい食べ物や硬い食べ物は避ける)

※感染しても症状の出ない「不顕性感染」という場合もある

合 併 症: 髄膜炎、難聴、膵炎、精巣炎、卵巣炎(思春期以降に感染すると)

治 療 法: 症状に応じて治療を行う(対症療法)

春は寒暖差や入園や進級により環境が変わることで疲れが出たり、体調を崩しやすくなるが多くなります、。

また集団生活の中で病気をもらう可能性も増えてくるので普段から「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につけて、強い体を作り元気よく毎日を過ごせるようにしましょう。

